

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東山 直正

事業名	一般国道458号 <small>もとあいかい</small> 本合海バイパス工区	事業区分	一般国道	事業主体	山形県
起終点	自：山形県最上郡大蔵村大字合海 至：山形県最上郡大蔵村大字清水			延長	2.8km
事業概要 一般国道458号の当該区間は、大蔵村と新庄市をアクセスする重要な道路であるが、車道(橋梁)幅員が狭く歩道もないため、歩行者が危険な状況であるほか、線形不良等による渋滞の発生、更には大蔵橋の老朽化等の課題を有している。このため、本事業では大蔵橋を架け替え、橋梁前後の線形不良箇所を解消するほか、歩道の設置により歩行者の安全と円滑な交通を確保するとともに新庄酒田道路升形ICへのアクセス機能を強化するものとして整備するものである。					
H7年度事業化	—	H7年度用地着手	H8年度工事着手		
全体事業費	113億円	事業進捗率	90%	供用済延長	1.73km
計画交通量	2,800台/日 ~ 3,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年 平成30年	
	(残事業)	事業費 維持管理費	走行時間短縮便益 走行経費減少便益 交通事故減少便益		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=0.9 ~ 1.1 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.00 ~ 1.01 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=0.96 ~ 1.1 (事業期間 ±20%)					
事業の効果等 ① 国土・地域ネットワークの構築 ・大蔵村から最上地域の日常活動圏中心都市である新庄市へのアクセス向上が見込まれる。 ・現道等における大型車のすれ違い困難区間の解消により走行性の向上が図れる。 ・幅員狭小や線形不良個所の解消により、走行性・安全性が向上し、交通の円滑化が図れる。 ② 災害への備え ・緊急輸送道路に指定されているが、現道部には脆弱区間(線形不良)を抱えており、これを回避することにより機能強化が図れる。					
関係する地方公共団体等の意見 ・H22年3月：「第3次山形県総合発展計画」策定 ・H22年3月：「山形県道路中期計画」策定(H26年3月改訂) ・H24年3月：「やまがた県土未来図」推進指針改定 ・上記計画に位置づけられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。 ・地域住民説明会を実施する等、周辺住民と合意形成を図りつつ事業を推進している。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続は妥当と認める					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率約90%、用地進捗率100%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・軟弱地盤対策工および埋蔵物調査が必要となっているが、早期の全線供用を目指して事業を推進していく。					

施設の構造や工法の変更等

- ・建設発生土は、近傍で実施している他事業への搬出を調整することにより、コスト縮減を図る。

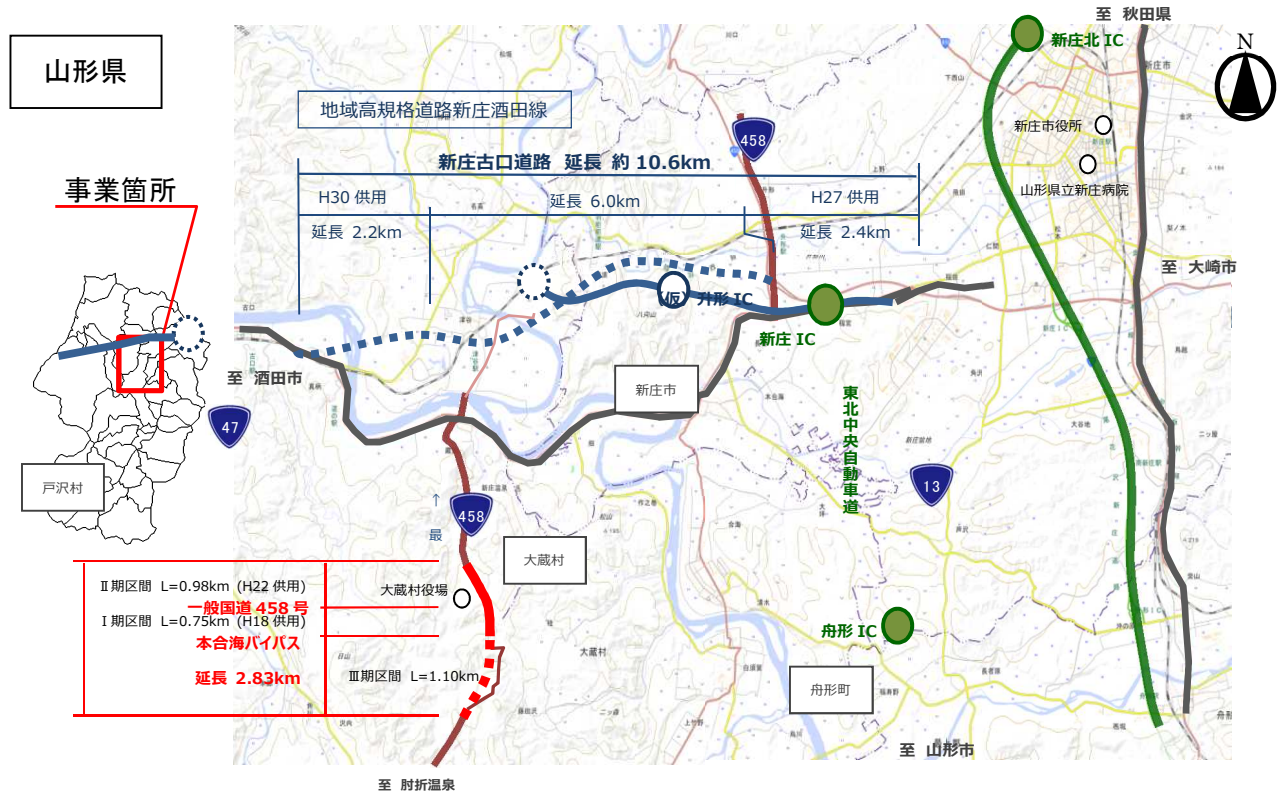
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性に変化はなく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。